

事務事業名		高齢者運転免許証自主返納者支援事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	01:安全安心な暮らしを支えるまちづくり				所属課	高齢者支援課	担当	地域包括推進担当
	施策名	03:高齢者福祉の充実				課長名	鈴木 啓市	担当者名	坂巻 美和
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	
		1	03	01	04	001	高齢者生活支援費		
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成31 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定 ( 年度～ 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要          高齢者の運転による交通事故を減少させるため、高齢者の運転免許証自主返納制度の利用を促進するとともに、運転免許証の自主返納による不便の軽減を図ることを目的とする。          対象者:満65歳以上で町内に住所を有し、有効期限内に運転免許証を自主返納した方          返納日から1年以内に申請した方          (ただし、事業開始年度に限り平成27年度～平成30年度中に返納した方も対象とする。)          ※福祉タクシー事業の助成対象者は除く。          助成内容:契約した民間タクシー会社で使用できる「タクシー利用券」を、1ヶ月あたり4枚で年間最大48枚を交付する          助成期間:申請年度を含め3ヶ年          支払方法:契約業者は、前月分の免許返納タクシー利用状況報告書に利用券を添付し請求し、月末までに支払う          ※契約事業者は、現在福祉タクシー事業で契約をしているところを予定</p> <p>2 概算事業費 初年度見込:扶助費 700円×4枚×9ヶ月×140名=3,528,000円(一人当たり年間最大25,200円)          初年度以降は、返納者数を毎年30名程度と見込む          需用費 印刷製本費 20,000円 ※交付枚数は福祉タクシー事業と同様          ※免許証返納者数:平成27年度(10名)、平成28年度(27名)、平成29年度(32名)、平成30年度(17名、11/22現在)</p> <p>3 その他 初年度は周知期間を考慮して申請受付を2019年7月からとする          県内で運転免許証自主返納者に対して対策を講じていないのは本町のみ(別添県交通政策課作成資料参照)</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	運転免許証を自主返納した65歳以上の方にタクシー利用券を交付する	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	65歳以上の方	ア タクシー券の交付対象者	人
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	高齢者の交通事故の防止を図るとともに、運転免許証を自主返納した方の外出を支援する	イ タクシー券の交付枚数	枚
		(5) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位
		ア 65歳以上の人数	人
		イ 運転免許証を自主返納した数	人
		(6) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位
		ア 町内の交通事故のうち高齢者が占める割合	%
		イ タクシー券を利用した割合	%

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値		140	150	160	120	150
		実績値						0
対象指標	イ	目標値		6,720	7,200	7,680	5,760	7,200
		実績値						0
成果指標	ア	目標値		4,197	4,252	4,270	4,278	4,252
		実績値						0
成果指標	イ	目標値		30	30	30	30	30
		実績値						0
成果指標	ア	目標値						0
		実績値						0
成果指標	イ	目標値		70	70	70	70	70
		実績値						0

計画		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成32年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0	
		県支出金	千円				0	
		地方債	千円				0	
		その他	千円				0	
		一般財源	千円	3,548	5,060	5,396	4,052	5,060
		事業費計 (A)	千円	0	3,548	5,060	5,396	4,052

実績		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0
		県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円				0
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	高齢者の運転免許証の自主返納の促進は、自らが運転する交通事故の防止・減少につながる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	加齢や認知症等を理由に運転免許証を自主返納した方の外出する機会を増やし、自主返納したことによる不便さを軽減させる必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	民間タクシーの基本料金をベースに算定。返納者の増加が予想され、事業費の増大が見込まれるため、助成期間を3年に限定した。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	申請できる方は限定されているが、高齢者による交通事故を減少させるということを考慮すると公平性は保たれている。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

### 3 事前評価結果

事前評価日： 平成 31 年 1 月 4 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

### 4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項
	<input type="checkbox"/> 再評価対象事業